

第3回 いきいきプラン八王子推進委員会

日 時 平成25年1月18日(金) 午前10時
会 場 八王子市役所 801 会議室

次 第

1. 委員長あいさつ

2. 議題

- ・平成24年度計画実施状況(平成24年12月末日時点)について 資料1

3. その他

- ・新計画策定の取り組み方について

別冊

<地域福祉活動計画> 平成24年度計画実施における具体的な行動内容と取り組んだ内容(12月末時点)

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な 取組計画)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)
			H22	H23	H24	H25				
1	住民懇談会の開催	住民懇談会の開催	3ヶ所×2回	6ヶ所×2回	12ヶ所×2回	24ヶ所×2回	B	12か所 24回開催 ・町会、老人会、関係機関等が参加する包括支援センター会議、見守りネットワーク会議等への参加 ・町会自治会単位での懇談	・別紙1のとおり	・別紙1のとおり
2	サロン活動の拡充	高齢者サロン活動・子育てサロン活動の拡充、障害者サロンの検討・実施	80ヶ所	90ヶ所	100ヶ所	110ヶ所	A	サロン数:104団体 (高齢者90団体・子育て14団体) ・新規立ち上げ相談・支援 ・サロン支援金の交付	サロン数:98団体 (高齢者83団体 子育て15団体) ・新規立ち上げ相談支援:3件 ・サロン支援金の交付 (高齢者:6,420,000円 子育て: 372,745円)	サロン数:98団体 (高齢者83団体 子育て15団体) ・9月～12月新規立ち上げ:1件 ・ // 活動廃止:1件 ・新規立ち上げ相談支援:2件 ・サロン支援金の交付 (高齢者:6,600,000円 子育て: 372,745円)
3	サロン活動の拡充	サロン活動連絡会の設置	検討	検討・開催	開催	開催	B	交流会の定期的開催と研修の実施 高齢者サロン ・包括支援センターエリアごとにサロン交流会の実施 ・全体交流会の実施 子育てサロン ・全体交流会の実施 連絡会の設置	・高齢者サロン・包括支援センターエリア交流会 → 1回(7月30日 包括めじろ) ・全体学習会 → 1回(6月27日)	高齢者サロン 包括支援センターエリア交流会 → 5回 ・11月27日 6団体 包括中野 ・11月28日 8団体 包括長房 ・11月29日 5団体 包括ゆうゆう ・11月29日 5団体 包括堀之内 ・11月30日 6団体 包括南大沢
4	サロン活動の拡充	ひとりぐらし高齢者昼食交流会	実施	実施	充実	充実	A	民生委員児童委員協議会20地区でひとりぐらし高齢者昼食交流会を開催 平成25年度以降のあり方を検討するために、あり方検討委員会を開催	民生委員3名と本会職員3名から構成される委員会を設置し、2回開催した。 ・対象ひとりぐらし高齢者数の増加に伴い、今後も開催経費が増大していくことが見込まれることへの対応策を検討するために、民生委員・参加者に対してアンケートを実施することを決定	昼食交流会 ・20地区で27回開催 あり方検討委員会 ・第3回 12月7日 内容:アンケート集計結果を基に参加者の自己負担を徴収する方向性を決定
5	小地域福祉活動の活性化	支えあいの仕組みづくりの検討	先進地域との情報交換実施	マニュアルづくり	啓発	啓発	B	定期的開催(3か月に1度) 啓発資料作成に向けた取り組み ・出張講座による啓発	参加団体:8団体 第3回 5月9日 テーマ:「より豊かな高齢社会を目指して」 八王子市都市政策研究所報告と意見交換 第4回 8月8日 テーマ:「団体の近況報告」	参加団体:9団体 第5回 11月14日 テーマ: ・「団体の近況報告及び絹ヶ丘1丁目町会の取り組みに対する意見交換」 ・「丸山町滝山台自治会の取り組み」

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な 取組計画)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)
			H22	H23	H24	H25				
6	小地域福祉活動の活性化	ビジネス手法を取り入れた地域活動 活性化の検討	検討	実施	充実	充実	B	調査研究・検討の継続 ・法政大学、市民活動支援センター、障害者 団体等と引き続き検討する		特記事項なし
7	地域福祉活動担い手講座 などの開催	地域福祉活動入門講座の開催	検討	開催	開催	開催	B	日常生活圏域での講座の開催 ・講座のプログラムの検討 ・講師の依頼、スケジュール調整、広報等	別紙2のとおり(No. 12、27共通)	丸山町滝山台自治会 「支え合いのまちづくり」学習会開 催 ・開催日:12月1日 ・内容:「社会の変遷から地域福祉 を考える」 ・講師:法政大学現代福祉学部 助教 大島隆代先生 ・参加者:27名 ・協力:包括支援センター左入 ★別紙2のとおり
8	地域福祉活動担い手講座 などの開催	テーマ別ボランティア講座の開催	検討	開催	開催	開催	B	現行講座の継続開催 ・傾聴ボランティア講座の開催 ・精神保健ボランティア講座の開催	・傾聴ボランティア講座(基礎編) 3会場受講者合計166名 5月10日(台町市民センター)受講 者:69名 5月17日(石川市民センター)受講 者:37名 5月24日(南大沢市民センター)受講 者:60名	傾聴ボランティアスキルアップ講座 (実践編) 2会場受講者合計60名 ・台町市民センター 受講者:39名 10月2日～ 延べ4日間 ・南大沢市民センター 受講者:21名 10月9日～延べ4日間 ※受講者のうち48名がボランティア登録
9	地域福祉活動担い手講座 などの開催	世代別ボランティア講座の開催	検討	開催	開催	開催	B	現行講座の継続開催 ・青年ボランティア体験学習の開催	・青年ボランティア体験学習 期間:7月21日～8月31日 活動者合計:219名 中学生:17名 高校生:146名 大学生:49名 社会人:7名	終了
10	地域福祉活動担い手講座 などの開催	サロン活動担い手養成講座の開催	—	検討	開催	開催	B	・新規サロン立ち上げ支援の継続 ・サロン交流会の意見から、担い手 (スタッフ)の高齢化と活動のマ ンネリ化が垣間見えてきた面があ るため、現在活動中のサロン活 性を優先した研修を開催	・6月27日 サロンスタッフ学習会 活動メニューのアイデア提供を 目的に簡単にできる「健康体操」「フ エルトバック作り」「新聞で創る トートバック作り」を実施。 講師:サロンスタッフ3名	

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な 取組計画)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)
			H22	H23	H24	H25				
11	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	ボランティアリーダー養成講座の開催	検討・開催	開催	開催	開催	B 2回開催 ・リーダー養成講座	・7月25日 地区リーダー茶話会 参加者:12名 内容:各地区の活動の現状報告、今後の地区活動についての意見交換		
12	地域福祉活動のコーディネート機能の充実	地域福祉活動コーディネートの充実	人材の発掘・育成	充実	充実	充実	C 小地域福祉活動の活性化 研修の場の創出	別紙2のとおり(No. 7、27共通)	No.7、27と共通	
13	見守り・相談機能の充実	よろず相談の開催	—	検討	年6回開催	年12回開催	C 内容の検討			
14	防災への取組	防災福祉マップづくり	—	検討	実施	実施	C 中野町甲和会防災マップ改訂への参加			
15	防災への取組	地域防災訓練の開催	—	検討	実施	実施	C 住民懇談会のテーマとして検討 ・八王子市総合防災訓練への参加	・8月18日 加住地区町会自治会連 合会主催「加住地区防災訓練」へ参加	・長房地区において地域防災を考 える学習会企画予定 ★別紙3のとおり	
16	災害時支援	災害時支援ボランティアコーディネーターの育成	継続	継続	継続	継続	B 研修会の開催 ・八王子市総合防災訓練への参加 ・研修会の開催	・災害時ボランティア支援センター 運営検討 会議(事務局職員7名) 第1回 8月8日 第2回 8月30日	・災害時ボランティア支援センター 運営訓練(八王子市総合防災訓練) 10月28日 登録コーディネーター等36名参加 コーディネーター役(受付・データ 管理班、マッチング班、オリエンテ ーション班、ニーズ班)及びボラン ティア役に分かれて模擬訓練を 実施	

<社協発展・強化計画>

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な取組計画)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)
			H22	H23	H24	H25				
17	社協会員制度	会費を徴収した地域圏に一定割合を還元	検討・規程整備	実施(2地区)		実施(4地区)	C	<p>会費の使途を見えやすくし、市民にとって理解されやすい・加入しやすい会費制度づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解されやすく加入しやすい会費制度に向け事務局レベルで準備 必要に応じて外部委員による委員会の設置・運営 具体的な推進方法、体制や影響の検討 関係団体等の調整 	<p>平成24年8月に事務局内に職員12名による「会費あり方検討委員会」を立ち上げ、これからの会費制度について検討中。</p> <p>第1回 8月21日 新規開拓を含め、個別に依頼の説明の必要な団体をリストアップすることを決定。</p>	<p>第2回 9月12日 第3回 11月19日 (検討結果)</p> <p>①500世帯以上町自連加入町会、かつ、未協力の9町会の町会長に管理職と圏域職員が伺い、直接協力を働きかける。 ②報告書式を作成し、情報共有を図る。 ③次年度は300世帯以上町自連加入町会、かつ、未協力の町会に拡大し協力を働きかけ、会員制度の強化を図る。</p>
18	社協会員制度	団体及び企業会員区分の新設	検討・規程整備			実施(H22対比、10%増)	C	<p>団体・企業会員会費制度づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 理解されやすく・効果がある・加入しやすい法人会員制度に向け事務局レベルで準備 必要に応じて外部委員による委員会の設置・運営 具体的な推進方法、体制や影響の検討 関係団体等の調整 	上記同じ	上記同じ
19	理事会・評議員会のあり方	新任理事・評議員への研修体系の確立	検討・研修体制整備・実施			充実	A	<p>自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 役員(理事・評議員会)の改選 新任役員の新任研修開催 	<p>本会役員の改選に際して、8月16日「役員・評議員研修会」を開催 参加者:役員14名・評議員32名 研修内容:東京都社会福祉協議会地域福祉部 松田京子部長より「社会福祉協議会の役割と今後の課題について」講演いただくとともに、事務局より八王子社協の概要や高齢者の現状を説明した。</p>	特記事項なし
20	理事会・評議員会のあり方	議論の活性化	検討・実施			充実	A	<p>自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 引き続き、分かりやすい資料提供や説明を行ない、評議員が議論しやすい環境整備を行なう。(事務局・議長段階) 必要に応じて活性化の検討(三役会・理事会・評議員会) 意見の集約、対応策の検討、提案(三役会・理事会・事務局) 取組の実施(評議員会) 	<p>理事会・評議員会の開催に際して、1週間前を目途に可能な限り資料を事前送付した。また、作成した資料は分かりやすいものに努めた。</p> <p>第1回理事会・評議員会 5月30日開催 5月24日資料送付 第2回評議員会 7月23日開催 7月18日資料送付 第2回理事会 8月16日開催 8月8日資料送付</p>	<p>・左記同じ。</p> <p>第3回理事会・評議員会 11月30日開催 11月22日資料送付</p>
21	理事会・評議員会のあり方	理事・評議員会の選出区分や選任数の見直し	検討・関係団体との調整			必要に応じ実施	B	<p>自立した経営体制や市民ニーズに則した運営体制づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> 次期役員改選に向け検討 学識経験者の枠を減らし、個人的かわりから団体からの推薦方式に切り替えを目指す。継続的な理事会・評議員会の運営を目指す。 	<p>本会役員の改選に際して、市民の声が反映される役員構成であるかを改めて確認いただいた。</p> <p>7月23日開催 第2回評議員会</p>	特記事項なし

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な 取組計画)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)
			H22	H23	H24	H25				
22	理事会・評議員会のあり方	経営管理理事の見直し	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施			C	<ul style="list-style-type: none"> 自立した経営体制づくりの検証(事務局段階において他地区の状況把握や検証) 必要に応じて八王子市と協議 必要に応じて予算要望 		常務理事、事務局長の組織体制は現実的には必然と思われるが、それに伴う市からの補助が見込めるかどうか。本計画の存在に関わるものと判断する。
23	部会・委員会等のあり方	地域福祉推進協議会の設置や部会の再編	検討・規程整備	開催(2地区)	開催(4地区)		B	地域福祉推進協議会設置 <ul style="list-style-type: none"> 設置すべき地域福祉推進協議会の形態についての検討 各圏域の地域特性や福祉活動の実態、ニーズの把握 圏域内の福祉ネットワーク化 	別紙2のとおり	別紙1のとおり
24	指定管理者制度への対応	本会における指定管理者制度受託のあり方検討委員会の新設	検討・規程整備	設置答申(恩方・長房)	実施		—	次期選定2年前に設置する検討委員会に向けて情報収集		
				平成23年4月19日開催委員会において、平成23年度中の設置答申は行わないと決定						
25	新たな事務局体制	事務局体制の改編及び現行事業の見直し	検討・規程整備・実施(地域福祉推進課設置)	充実			C	委託事業の展開に際し、総合的な専門職に関するラインの統一化を図ると共に、各業務の見直しを図る必要性を市担当所管課とも調整をし方向性を見出す <ul style="list-style-type: none"> 共通課題に対する確認と指導・指針の統一化 	本計画に則ると事務局は更に地域福祉推進課を充実する内容となっている。但し、現ボランティアセターの建造物もその耐用年数をはるかに超え、内部回収工事も構造上の問題点も専門家の指摘を受ける必要がある。将来的な設計図を現状で判断出来かねる点もあり、改編に向けては慎重に進めるためにも時間がかかると思われる。現行事業は検討会や実行委員会形式の導入で対応、更に各事業ごとにアンケートにて今後の事業の見直しを進めている。24年度の各アンケートの結果を持って関連機関との調整を図ることとする。	本計画に基づく取り組みにおいて社協が進めている現行事業も既に実行委員会を立ち上げ、対象者や行政等の関連部署とも協議し検討を行っている。早急に結果が得られるもの、そうでないもの等見極めて改善ができるものがあるれば、人事を含めて対応を図っていくこととする。職員層の平均化や職員不足等抱える課題も山積しており、本計画に基づく事業の見直しと人事が重要と認識する。
26	新たな事務局体制	コミュニティソーシャルワーカーの任命	実施(モデル地区)	実施(1地区)	実施(4地区)	充実	A	地域福祉活動の活性化 <ul style="list-style-type: none"> 設置すべき地域福祉推進協議会の形態についての検討 各圏域の地域特性や福祉活動の実態ニーズの把握 圏域内の福祉ネットワーク化 	別紙2のとおり	別紙1のとおり
27	新たな事務局体制	地域福祉活動推進員の配置	検討・実施(モデル地区)	実施(1地区)	実施(4地区)	充実	C	具体的検討と配置 <ul style="list-style-type: none"> 役割、地域福祉推進協議会との関係性の検討 リーダー養成講座 講座のプログラムの検討 講師の依頼、スケジュール調整、広報等 講座の開催 町会自治会、ボランティアグループ等との協議継続 	<ul style="list-style-type: none"> 先進地区の視察 7月4日 西東京市と社協が運営する「ほっとネット推進員」研修会へ参加 別紙1のとおり(No. 7,12 共通) 	別紙1のとおり

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な 取組計画)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)
			H22	H23	H24	H25				
28	権利を擁護する体制の確立	権利擁護(含む成年後見支援) センターの設置	検討・規定整備・設置・実施	充実			C	八王子市と協議(担当所管の変更 予定のため)		市の担当所管とセンターの設置を検討中
29	権利を擁護する体制の確立	後見監督業務の実施	検討	要領等の 整備実施	充実			A	・市民後見人候補者のフォローアップ研修の引き続き実施 ・法人後見監督事業の実施(4月に1件 6月に2件の市民後見人が受任したため)	・市民後見人候補者のフォローアップ研修 ・市民後見人4名が成年後見人を受任、法人後見監督を実施
30	権利を擁護する体制の確立	他界後の事務支援の検討	検討	必要に応じ実施			C	他界後の事務支援の検討 ・八王子市と協議		・他界後の事務について検討中
31	事務局拠点のあり方	拠点のあり方について検討	検討・提案	必要に応じ実施			C	市民が「相談しやすい」、「利用しやすい」場所に事務局拠点を移設する方向性を打ち出す ・ボランティアセンターとの一体化を八王子市へ要望		拠点の一本化は将来的には現実化を図る。現時点では、社協事業及びサービス提供者への便宜が図れる様最善の対応を図ると共に市からの援助を取り付ける中、実現に期待したい。
32	人材育成の仕組みづくり	研修制度の充実	検討・整備・実施	充実			B	全職員が一定の人材育成の方向性に基づく研修体系の整備化・実施 ・社協検討会や各担当内ミーティングの実施 ・屋窓や繁忙期の共同作業の実施 ・担当を超えたOJTの実施 ・効果的な研修体制の体系化検討・実施 ・職員の資格取得の奨励(職免制度の活用) ・職員情報のデータベース作成		本会が適用される社会福社会計簿記に特化した「社会福社会計簿記認定試験(初級・中級・上級)」を奨励資格として新たに指定し、取得に関わる費用及び時間を助成及び職免とした。
33	人材育成の仕組みづくり	共に育つ職場づくり	検討・整備・実施	充実			B	共に育つ職場づくりの基礎作り ・社協検討会や各担当内ミーティングの実施 ・屋窓や繁忙期の共同作業の実施 ・担当を超えたOJTの実施	進行中の担当を超えたプロジェクト ・広報委員会 ・会員会費あり方検討委員会 ・長寿を祝う会 ・受賞式	

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な 取組計画)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	
			H22	H23	H24	H25					
34	人材育成の仕組みづくり	人事管理	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施				B	業務遂行上、その必要性を図るため、内容、業務は専門性を鑑みて、融資格者の採用を今後も検討していく。多方面との調整には制度、サービス、関連法の知識は必要不可欠で、さらに自己研鑽とスキルアップを図ることとする。	社協の持つ機能は、より福祉の充実の為、利用者や対象者の状況を把握し、適宜対応を速やかに図る必要が有る為、更に個人のスキルアップにつながる対応を図らなければならない。よって専門分野における職員の研修会等への参加は積極的に行っており、更なる知識や理論を学ぶため、各ラインでの学習会等での参加も促している。→ 実施中である。	直接市民サービスに関わる担当部署やラインにおいては、引き続き専門分野での活躍ができるよう、内部調整会議、研修会等は勿論のこと、外部で実施する研修へは参加できるよう促している。
35	財務	「特定寄付制度」「メモリアル寄付」の創設やメニューづくり	検討・整備・実施	充実				A	寄付者の意向が伝わる寄付制度づくり ・今後も寄付者の意向が伝わりや時代のニーズにそくした特定寄付制度の提案や実施 ・寄付するきっかけにつながる寄付制度(メモリアル・香典返し)の実施 ・市民等から提供申し出のあった物品や寄付品の福祉施設などへのマッチングの実施 ・寄付のメニュー化や税控除など市民に分かりやすく広報 ・時代に即した寄付受入や実施体制の検討・整備		川口地区の町会自治会を対象に、共同募金配分先施設見学に招待する「共同募金ありがとうツアー」を開催し、募金が施設の活動に有効に活用されていることを伝えた。 ・10月17日 1町会6名参加 ・11月6日 4町会6名参加
36	財務	身近に気軽に寄付・募金できる環境整備	検討・整備・実施	充実				B	身近に気軽に寄付・募金ができる環境整備 ・寄付者の意向が伝わる特定寄付制度の実施 ・寄付するきっかけにつながる寄付制度(メモリアル・香典返し)の実施 ・市民等から提供申し出のあった物品や寄付品の福祉施設などへのマッチングの実施 ・寄付のメニュー化や税控除など市民に分かりやすく広報 ・市民が主体的に実施する募金活動の支援 ・時代に即した寄付受入や実施体制の検討・整備		23年8月15日より24年3月31日まで行なった特定募金である「被災地支援ボランティア支援金」を市民ボランティア612名に全額助成した。この八王子独自の市民同士の支え合い仕組みは、今後予想される大規模災害時にも今回の経験と実践が必ず役に立つと確信している。
37	財務	住民が主体的に募金するシステム構築	検討・関係団体との調整	再構築	充実			B	赤い羽根共同募金地区配分推せん委員会の開催 ・委員会の開催		赤い羽根共同募金地区配分推薦委員会を1回開催した。 ・開催日:12月4日 ・内容:共同募金B配分申請の審査
38	財務	事業収入の強化	検討・関係者との調整	必要に応じ実施	充実			C	本会事業収入の適正価格への移行準備 ・現行の事業収入の現状検討(適正化) ・早急に適正化が必要な事業収入の選定 ・必要に応じて適正化に必要な手続きの検討 ・必要に応じて利害関係者との調整		昼食交流会あり方検討委員会を開催し、参加費徴収を視野に入れて検討している。

No	行動項目	行動内容	計画内容				H23総括	平成24年度具体的な行動内容 (年度別活動が達成された状態、具体的な 取組計画)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)	取り組んだ内容 (平成24年12月末時点)
			H22	H23	H24	H25				
39	財務	収益事業の拡大	検討・関係団体への働きかけ	実施			B	自己財源の確保 ・自販機・証明写真機設置事業の拡大を検討 ・その他、財源確保につながる収益事業の研究 ・必要に応じて実施方法の検討・整備 ・自動販売機設置事業の更新入札準備 ・自動販売機設置事業の更新入札の実施	8月4日より初めて民有地(榑原町)に本会管理の飲料水自動販売機を設置する。	特記事項なし
40	財務管理	内部けん制の強化	検討・規程整備	実施	充実		A	適切な事務執行体制の確立に努め、市民から信頼される社協づくり ・監事による決算監査の実施(5/21) ・不祥事故防止体制の充実 ・事務局内部による月例監査の実施	事務局内部による月例監査の実施(11月まで)	事務局内部による月例監査の実施(11月まで)
41	財務管理	情報公開の強化	検討	実施	充実		B	透明性の高い社協づくり ・市民の代表者である理事・評議員に詳細な運営状況の情報提供の実施 ・市民に主要な運営状況の情報提供の実施(社協だより・HPなど)	7月1日号社協だよりにて平成23年度事業報告・決算及び平成24年度事業計画・予算を掲載する。	1月4日号社協だよりにて社協の組織や運営状況について、市民の皆さんにご理解いただくため、職員数や給与支給状況を掲載する。
42	財務管理	トップマネジメント力の強化	検討・関係団体との調整	必要に応じ実施			B	補助金対応の流れに自主財源の確保が低迷しているため、社協本来の自主事業の展開に際し、別途社協会員会費のあり方検討委員会をも含め、方針、方向性を見出す。尚、公共債の安全且つ収入益を効率的に組織運営にあてる。		役員による経営手腕の説明頂く機会を設ける等工夫すると共に、社協が実施する講座、研修会、学習会等からも資料代、参加費、受講料等の徴収を考慮したい。

平成24年9月～12月 6圏域の動き及びだされた意見等

	日にち	参加会議等	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等
中央	10/25	障害者施設のオープン スペースを使ったサロンの 立ち上げ打合せ	<p>○サロン立ち上げに関する相談</p> <p>…障害者施設木馬工房を活動場所としたサロン活動立ち上げについて</p> <ul style="list-style-type: none"> ・参加者:元本郷町会長及び民生委員2名、木馬工房1名 ・きっかけ:木馬工房改築に伴い、ギャラリーホール(一般に開放する)を設置。この場所を地域の方々に使っていただきたい。 ・サロン運営の基盤は地域住民、町会や民生委員等地元方々の関わりが必要 ・町会主体でなくとも、町会から賛同者を募り、この方々を運営主体として町会がバックアップする方法が検討できる。
北部	12/1	丸山町滝山台自治会 「支え合いのまちづくり」 学習会開催	別紙2のとおり
西南部	9/30 10/13	高尾パークハイツA棟 要援護者避難訓練	<p>○高尾パークハイツA棟要援護者避難訓練の視察</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避難体制 <ul style="list-style-type: none"> …手上げ方式による要援護者1人に対して手上げ方式による支援者(隊員)2人程度を予め選任 ・訓練の様子 <ul style="list-style-type: none"> …9/30に担当隊員の名前を記入した「あんしんカード」を隊員自らが要援護者に配付し、顔合わせのうえ、10/13に要援護者7名参加のもと避難訓練を実施
	11/28 12/13 12/27	都営長房団地における 防災を共に考える学習会 開催に向けた打合せ	<p>○都営長房団地における防災を共に考える学習会開催に向けた打合せ(別紙3参照)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・企画内容主旨 <ul style="list-style-type: none"> …平常時の見守り活動を視野に入れながら、大震災において団地内のエレベーターが停止して使用できないことを想定した要援護者体制の確立を図る学習会を地域包括支援センター長房、地域住民と共に開催する。 ・11/28 地域包括支援センターへの説明 ・12/13 民協12地区会長への事前相談 ・12/27 横山北地区町会自治会連合会会長、長房地域住民協会会長、民協12地区会長への説明
西部	10/17 11/6	共同募金ありがとうツアー 開催	<p>○川口地区町会自治会連合会における赤い羽根共同募金配分先見学をモデルとして川口地区にて開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・10/17 1町会6名参加 見学先 結の会、ひのき工房 ・11/6 4町会6名参加 見学先 結の会、ひのき工房
	12/18	徘徊認知症高齢者を捜す 模擬訓練	<p>○徘徊認知症高齢者を捜す模擬訓練に参加</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内容 <ul style="list-style-type: none"> …地域包括もとはち南、高尾の合同開催で、認知症サポーター養成講座を修了した方を対象に徘徊している認知症の方へ声掛けシュミレーションを実施 ・参加者の声 <ul style="list-style-type: none"> …全く見知らぬ方へ声かけするのは思った以上に難しかった 声かけできる地域の必要性を感じた

東南部	10/13	長沼サロン 「おもだか」	<p>○サロン初回開催日</p> <ul style="list-style-type: none"> ・代表者、包括、社協よりあいさつ ・もともと健康体操を行っていた会であるが、体操の参加者以外にも多くの参加者がみられた。 ・今後周辺自治会などにもPRをしていく。
	10/12	絹ヶ丘1丁目自治会 高齢者対策検討委員 との打合せ	<p>○高齢者対策を行うための仕組みづくりについての検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委員会メンバーで高齢化が進む絹ヶ丘1丁目自治会における高齢化の問題点を挙げ、対策について案を検討してきている。 ・先進的な取り組みを行う片倉台自治会を見学し、住民同士で助け合える活動の組織化を具体化しようと考えている。 ・社協で小地域活動を先進的に行っている団体同士の情報交換会を開いているため、参加について提案 →11/14の小地域情報交換会に参加。他地域の活動状況等を参考に、12月末に住民アンケートを実施。
東部	9/19	別所蓮生寺団地ふれあい クラブ 打合せ	<p>○サロン活動についての説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・約1年、住民で集まって体操や趣味活動などを行ってきている。もっと住民同士の交流を図りたいと思っている。 ・サロン活動の運営のポイントや支援金について説明
	11/1	南大沢中学校での 子育てサロン	<p>○南大沢中学校「いのちの教室」の一環として子育てサロンを開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育てサロン団体「ゆうゆうクラブ」に運営を依頼して行った。 ・多くの親子が参加し、中学生と交流した。 ・南大沢中学校を拠点とした今後の地域活動について検討できる機会となった。

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
9/9	19:00 ～ 20:00	・丸山町滝山台自治会 小地域福祉活動立ち上げ のための講座企画打合せ ・丸山町滝山台自治会館	○学習会の内容について協議 ・開催日時の決定 : 12月1日(土) 午前10時に第1回目の開催 を決定 ・開催場所: 滝山台自治会館 ・講師: 法政大学現代福祉学部 助教 大島隆代先生 を予定 ・学習テーマ: 地域の支えあい活動について、防災の視点も含め ての講義 ・役割分担: PR活動 … 自治会(チラシの案は社協作成) 講師調整 … 社協 経費負担 … 社協	役員10名 民生委員 1名
11/11	19:00 ～ 20:00	・丸山町滝山台自治会 小地域福祉活動立ち上げ のための講座企画打合せ ・丸山町滝山台自治会館	○これまでの経過報告、学習会当日のスケジュールと役 割確認 ・PR活動について(PRは自治会の担当で周知する、と取り決め た。) 自治会の取り組みとして、以下のPRを実施した。 ①防災訓練(10月13日)に会場内にポスター掲示及び自治会長 よりPRを行った。 ②回覧を実施した。 ↓ 参加動向については、把握できていない。 3週間あるので、PR活動を再度行う。 ③チラシを各戸配布する。 ④参加希望者の人数把握を行う(事前申し込みの方法を取る。 当日参加もOK) ・その他 ①学習会も含め、福祉対策を継続して検討するならば、専門の 部を作ることも必要との意見あり。 ②現役員の中から、今回の取り組みに消極的な意見も一部出 た。	役員8名 民生委員 1名
12/1	9:15 ～ 12:30	・丸山町滝山台自治会 「支え合いのまちづくり」学 習会開催 ・丸山町滝山台自治会館	別紙2のとおり	参加者27 名 包括 左入2名
12/9	19:00 ～ 19:30	・丸山町滝山台自治会 「支え合いのまちづくり」学 習会反省及び次回日程等 ・丸山町滝山台自治会館	別紙2のとおり	役員8名 民生委員 1名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
10/25	9:30 ～ 11:30	障害者施設のオープンスペースを使ったサロンの立上げ打合せ 場所:木馬工房	<p>○サロン立ち上げに関する相談</p> <p>…障害者施設木馬工房を活動場所としたサロン活動立ち上げについて</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加者:元本郷町会長及び民生委員2名、木馬工房1名 きっかけ:木馬工房改築に伴い、ギャラリーホール(一般に開放する)を設置。この場所を地域の方々に使っていただきたい サロン運営の基盤は地域住民、町会や民生委員等地元方々の関わりが必要 <p>↓</p> <ul style="list-style-type: none"> 申請や決算書類等事務が複雑だと敬遠される 町会主体でなくとも、町民から賛同者を募り、この方々を運営主体として町会がバックアップする方法が検討できる 事務処理等は木馬工房も運営のサポートを行える 町会の中で検討する。基本的には立ち上げに向けた動きをしていく 	元本郷町会長 民生委員2名 木馬工房1名
11/27	10:00 ～ 12:00	サロン団体交流会 場所:ボランティアセンター	<p>○サロン団体交流会</p> <p>…包括中野エリアで活動するサロン団体交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加団体:6団体(日吉ふれあい・憩いの会、元本郷ふれあい喫茶、いちようくらぶ、ふれあいサロン五月、甲の原サロン、いきいきサロン東四会館) 市内サロン活動状況の報告(社協) 参加団体からの報告 <p>〈特徴〉</p> <ul style="list-style-type: none"> イベント、お菓子など季節感を大切にしている 畑で野菜作りをし食材に使いながら、バザーなど販売し自己資金としている ランチバイキング 曜日ではなく、日にちを固定している <p>〈課題等〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 参加者どうしのコミュニケーションの取り方 内容にマンネリ感がある 会館の建て替えを控えているため活動拠点の確保 お一人暮らしなど来ていただきたい方が参加いただけない <p>〈上記課題に対するアイデア等〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①に対し→スタッフがつなぎ役として関わることや会場設営に配慮など ② // →参加者の特技など発表の場として ④ // →参加ありきでなく、さりげなくお誘いの声かけをすることで緩やかな見守りにつながっている 	包括中野 2名
		サロン団体交流会 場所:ボランティアセンター	<p>○サロン団体交流会</p> <p>…包括ゆうゆうエリアで活動するサロン団体交流会</p> <ul style="list-style-type: none"> 参加団体:5団体(大和田ひだまり会、レモンの会、あったかサロン、富士見ふれあいサロン、サロンあいの会) 市内サロン活動状況の報告(社協) 参加団体からの報告 <p>〈特徴〉</p> <ul style="list-style-type: none"> 健康麻雀で男性にPR 地域の保育園との交流 体操が好評 <p>〈課題等〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①スタッフの高齢化や不足 ②お一人暮らしなど来ていただきたい方が参加いただけない <p>〈上記課題に対するアイデア等〉</p> <ol style="list-style-type: none"> ①に対し→地域への呼び掛け、あせらずに ② // →参加ありきでなく、さりげなくお誘いの声かけをすることで緩やかな見守りにつながっている 	包括ゆうゆう 4名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
9/30	10:00 ～ 12:00	高尾パークハイツA棟要援 護者向け避難訓練打合せ 場所:高尾パークハイツA棟	○高層住宅での防災訓練を学ぶために参加 ・避難訓練実施に至った経緯、避難体制、要援護者と支 援者の顔合わせ、避難誘導器具利用方法の学習	
10/13	9:30 ～ 11:30	高尾パークハイツA棟要援 護者向け避難訓練 場所:高尾パークハイツA棟	○高層住宅での防災訓練を学ぶために参加 ・要援護者7名、支援者24名で避難訓練実施	包括高尾 1名
11/27	11:00 ～ 11:30	地域包括支援センター高尾 場所:地域包括支援セン ター高尾	○地域包括支援センター高尾との情報交換 ・三和団地、高尾パークハイツにおいてサロンに発展でき そうな交流が行われている ・廿里町を候補地として、徘徊認知症高齢者を捜す模擬 訓練実施を検討している	包括高尾 1名
11/28	14:00 ～ 16:00	包括長房地区サロン交流会 場所:長房ふれあい館	○地域包括支援センター長房地区のサロン交流会 出席団体:8団体(船田ひだまり会、長房西団地ひだまり 会、水崎ひだまり喫茶の会、八王子青春の会、 ひまわりサロン、長房茶房クラブ、みんなのサ ロン長房、中郷ひだまり会) ・長房地域は高齢化率が高く(都営西43.5%、都営北 41.2%、都営南46.5%、市営第一47.7%、市営第二 42.8%)孤独死が多い ・参加者固定化が課題 ・会場の予約が抽選のため、定期開催しづらい	包括長房 3名
11/28	16:00 ～ 16:30	包括長房へ学習会主旨説 明及び協力依頼 場所:長房ふれあい館	○都営長房団地における防災を共に考える学習会の趣旨 説明及び協力(共催)を包括長房へ依頼 包括長房より ・企画には賛成なので協力するが、市(高齢者支援課)に も社協とともに包括長房が進めることの了承を得てほし い 確認事項 ・12月に民協12地区会長に主旨説明のうえ相談	包括長房 1名
12/13	10:00 ～ 11:30	民協12地区会長へ学習会開 催に向けた相談 場所:地域包括支援セン ター長房	○都営長房団地における防災を共に考える学習会開催に 向けた相談 ・都営住宅全体だと世帯数が多いので、まずは対象世帯 をエレベーターのある西アパート連合自治会、西団地連 合自治会に絞ったほうがよい ・市の避難者支援プラン、民協の災害時ひとりも見逃さな い運動とマッチングさせる必要がある	包括長房 3名
12/27	10:00 ～ 11:30	横山北地区町自連会長、 長房地域住民協会会長、民 協12地区会長への主旨説 明及び協力依頼 場所:ボランティアセンター	○都営長房団地における防災を共に考える学習会の趣旨 説明及び協力を横山北地区町自連会長、長房地域住 民協会会長、民協12地区会長へ依頼 ・住民が主体的に防災対策を打ち出すことは難しいので 学習会のなかで社協が複数の対策案を提示するとよい ・西アパート、西団地以外の北団地、南団地も対象とする かは西アパート・西団地の各連合自治会長に相談する べき	包括長房 1名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 出された主な意見等	同席
9/3	19:30 ～ 20:20	川口地区町会自治会連合 会定例会 場所:川口市民センター	○川口地区町会自治会連合会における赤い羽根共同募 金配分先見学をモデルとして川口地区にて行うことの 参加協力依頼	
10/17	9:00 ～ 12:30	共同募金ありがとうツアー (施設見学) 場所:結の会、ひのき工房	○施設見学及び共同募金配分使途説明(川口地区1町 会、6名参加) ・障がい者施設運営に関心を持っているので、参考にな ると思い参加した	
11/6	9:00 ～ 12:30	共同募金ありがとうツアー (施設見学) 場所:結の会、ひのき工房	○施設見学及び共同募金配分使途説明(4町会6名参 加) ・こういった施設を見学できる機会はないので、よい機会 だと思って参加した ・施設を運営していくのは本当に大変なことだと思った	
11/15	11:00 ～ 14:00	住民交流喫茶 場所:高尾台住宅自治会	○住民交流喫茶の立ち上げ後の支援 ・1食250円で昼食提供 ・住民だれもが利用できる ・当日は10名程度来所	包括もと はち南 1名
12/7	13:00 ～ 15:00	いずみサロン 場所:泉町住宅団地集 会所	○サロン立ち上げ後の支援 ・スタッフによる演芸や前回作成した松ぼっくりツリーを 飾っていた。	包括もと はち南 1名
12/18	15:00 ～ 17:30	徘徊認知症高齢者を捜 す模擬訓練 場所:松子舞住宅	○徘徊認知症高齢者を捜す模擬訓練に参加 ・内容 …地域包括もとはち南、高尾の合同開催で、認知症サ ポーター養成講座を修了した方を対象に徘徊してい る認知症の方へ声掛けシュミレーションを実施 ・参加者の声 …全く見知らぬ方へ声かけするのは思った以上に難し かった 声かけできる地域の必要性を感じた。	包括もと はち南 3名 包括高尾 1名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
10/9	10:00 ～ 12:00	長沼サロン 「おもだか」 場所:長沼日邸自治会館	○サロン初回開催日 ・代表者、包括、社協よりあいさつ ・もともと健康体操を行っていた会であるが、体操の参加者以外にも多くの参加者がみられた。 ・今後周辺自治会などにもPRをしていく。	包括長沼 2名
10/11	10:30 ～ 12:00	片倉台高齢者見守り ネットワーク運営会議 場所:片倉台自治会	○参加団体(自治会、福祉ネットワーク、民生委員、包括、社協)相互の情報交換 ・社協より、昼食交流会や成年後見制度講演会について案内 ・片倉台自治会福祉委員会主催で住民対象の福祉シンポジウムを開催しており、今年の内容について検討している。	包括片倉 3名
10/12	13:30 ～ 15:00	絹ヶ丘1丁目自治会 高齢者対策検討委員 との打合せ 場所:絹ヶ丘1丁目自治会 館	○高齢者対策を行うための仕組みづくりについての検討 ・委員会メンバーで高齢化が進む絹ヶ丘1丁目自治会における高齢化の問題点を挙げ、対策について案を検討してきている。 ・先進的な取り組みを行う片倉台自治会を見学し、住民同士で助け合える活動の組織化を具体化しようと考えている。 ・社協で小地域活動を先進的に行っている団体同士の情報交換会を開いているため、参加について提案 →11/14の小地域情報交換会に参加。他地域の活動状況等を参考に、12月末に住民アンケートを実施。	
11/27	13:30 ～ 15:30	片倉台自治会 福祉公開シンポジウム 場所:片倉台自治会館	○福祉公開シンポジウム開催 愛着ある片倉台、住み慣れた家出暮らし続けるために～困った時意外と身近にある相談窓口～ ・福祉ネットワーク、包括、民生委員、社協がパネリストとして参加、それぞれの役割等について発表 ・一人暮らし高齢者の事例をもとに、各機関がどのように支援できるかを紹介 ・財産管理についての質問が多く聞かれた。	包括片倉 1名
12/13	10:30 ～ 12:00	片倉台高齢者見守り ネットワーク運営会議 場所:片倉台自治会	○参加団体(自治会、福祉ネットワーク、民生委員、包括、社協)相互の情報交換 ・一人暮らしの方への入浴券配布について、元気な方しかいけないとの意見があった。 ・市高齢者支援課より一人暮らしの方の見守りとしてヤクルトやコンビニ等に働きかけている。 ・自治会より高齢者が増えてきているが、個人情報がない中での対応に限界がある。	包括片倉 3名
12/27	10:00 ～ 12:00	16-2地区民生委員交流会 (包括片倉センター支援会 議) 場所:包括片倉	○包括、民生委員、訪問ふれあい員、社協との情報交換 ・包括より、保健所や警察署との連携状況について、消費者被害について等報告あり ・社協より、成年後見制度学習会の開催、避難者交流会の開催について案内	包括片倉 5名

日にち	時間	参加会議・イベント名(主催) 場所:	内容および社協の関わり 効果・検討すべきこと等	同席
9/19	13:30 ～ 14:30	別所蓮生寺団地ふれあい クラブ 打合せ 場所:蓮生寺団地集会所	○サロン活動についての説明 ・約1年、住民で集まって体操や趣味活動などを行っている。もっと住民同士の交流を図りたいと思っている。 ・サロン活動の運営のポイントや支援金について説明	
9/27	14:00 ～ 15:30	地域包括支援センター 南大沢センター支援会議 場所:南大沢市民センター	○鑓水エリアにおける高齢者支援機関(包括、高齢者支援課、シルバーピア、民生委員、社協)の情報交換 ・認知症サポーター講座を広めていきたい。 ・「高齢者暮らしの安心ネットワーク」というパンフレットを作成したので、今後配布し活用してほしい。	包括 南大沢 1名
10/11	13:30 ～ 15:00	地域包括支援センター 堀之内との打合せ 場所:ボランティアセンター	○包括ケア会議で作成中のマップ作りについて ・地域の情報をまとめたマップ作りを行っているが、その中に、社協の事業紹介のページも設けたい。 ・印刷の協力など、作成に協力してほしい。	包括 堀之内 3名
10/13	14:00 ～ 16:00	地域包括支援センター 堀之内 ネットワーク会議 場所:由木東市民センター	○参加団体(包括、高齢者支援課、保健所、サロン、老人クラブ、民生委員、ボランティア、社協)の情報交換 ・包括、高齢者支援課、保健所、社協の各機関からそれぞれの役割や事業について説明 ・関係団体が集まる機会を持つことによって、今後地域でのネットワークを構築していきたい。	包括 堀之内 4名
10/17	14:00 ～ 16:00	南大沢商店街における どんぐり喫茶 場所:南大沢商店街	○南大沢商店街店舗前の広場を利用した喫茶の開催 ・商店街の方が机を貸してくれるなど協力的であった。 ・今後も、第三水曜日に定期開催していく。 ・南大沢地域における住民の居場所づくりにつなげていきたい。	
11/1	10:00 ～ 12:00	南大沢中学校での 子育てサロン 場所:南大沢中学校	○南大沢中学校「いのちの教室」の一環として子育てサロンを開催 ・子育てサロン団体「ゆうゆうクラブ」に運営を依頼して行った。 ・多くの親子が参加し、中学生と交流した。 ・南大沢中学校を拠点とした今後の地域活動について検討できる機会となった。	
11/22	14:00 ～ 16:00	地域包括支援センター 堀之内 ケア会議 場所:由木東市民センター	○ご近所マップ作りの検討 ・掲載案で出ている社会資源、包括・社協のページについて内容の確認 ・今年度中に第一版を作成し、今後は新しい情報を足していけるようにしたい。	包括 堀之内 4名
11/29	14:00 ～ 16:00	地域包括支援センター 堀之内エリアサロン交流会 場所:由木東市民センター	○堀之内エリアのサロン団体間の情報交換 出席団体:5団体(松が谷福祉の会まつぼっくり、大塚団地ふるさとサロン、陽光台サロン、柚木の会、めぐみの会) ・参加団体より活動状況や課題などについて情報共有 ・サロン活動の情報交換だけでなく、陽光台の例を中心に自治会活動との連携や小地域福祉活動についてなど、サロン活動以外にも力を注げるよう、サロンスタッフが力を発揮していきたい、との意見交換が行われた。	包括 堀之内 4名
11/30	10:00 ～ 12:00	地域包括支援センター 南大沢エリアサロン交流会 場所:ボランティアセンター 南大沢分室	○南大沢エリアのサロン団体間の情報交換 出席団体:6団体(いこいの談話室、鑓水サロン、フェアヒルズ交流サロン、ふれあいサロンハーブの集い、サロンリンクソシエ、ノナシアサロン) ・参加団体より活動状況や課題などについて情報共有 ・参加者がなかなか増えない、内容に新鮮さがなくなっている、といった共通の課題が出された。 ・サロン活動の他に、地域防災について、各地域での取り組みについて情報交換を行った。	包括 南大沢 1名